

学校安全・防災だより

【第10号】



仙台管区気象台との連携

— 蔵王町防災教育推進会議 —

蔵王町では、教育委員会、町防災部局、各学校防災主任、防災教育研修担当校長が一堂に会し、防災教育推進会議を開催しています。

この会議で、町の防災体制を確認するとともに、各学校の防災教育、不審者対応、熱中症対策等について情報共有を行っています。

さらに、今年度は、仙台管区気象台気象防災部から講師を招いて気象災害について研修を行いました。気象台からは、蔵王町の災害特性に関する資料を基に、災害対応、防災情報の収集方法について説明がありました。専門機関との連携により、災害対応力を高める有益な研修となりました。



地域連携総合防災訓練

— 関係機関・保護者・地域の方々とともに：登米市立佐沼中学校 —

佐沼中学校では、緊急時における生徒の安全確保及び保護者・地域との連携をスムーズに行うため、地域連携総合防災訓練を実施し、安全・安心な学校を目指しています。

訓練では、防災・減災の視点から地域を調査し「防災マップ」にまとめたことの発表会や救命救急訓練、避難所開設訓練などの活動を保護者・地域住民をはじめ、消防署、社会福祉協議会等多くの関係機関と連携し実施しました。

地域の災害特性に応じた、生徒や教職員、地域の方々の防災意識・災害対応力を高められた訓練となりました。



貞山地区の交通安全を考えよう

— 学校安全総合支援事業 交通安全モデル校：石巻市立貞山小学校 —

貞山小学校の5学年で、ゲストティーチャーとして東北工業大学教授 小川和久先生に御来校いただき、貞山地区の交通安全を考える授業が行われました。

小川先生から交通事故が起きやすい場所を見付ける視点を聞いた子供たちは、グループごとに自分たちの通学路について活発に意見交換を行っていました。

これから、フィールドワークを行い、事故を防ぐための交通安全マップの作成に取り掛かります。どのようなマップが完成するか楽しみです。



地域住民と関係機関が連携した合同避難訓練

— 災害時の避難場所や正門・体育館の開錠方法等を確認：松島高等学校 —

<当日の参加者（約60名）>

高城区の住民、松島町役場の担当者、塩釜消防署員、学校担当者 など

<訓練の内容>

正門と体育館の開錠訓練、体育館までの避難ルート確認、体育館内の設備・備品の確認等

同校の体育館は、災害時の避難所として指定されているため、地元区長さんが中心となり、地域住民と関係機関が連携した訓練が実施されました。

新しい体育館の完成後、初めて館内に入った住民がほとんどで、正門の開錠から体育館までの避難ルートを確認し、学校担当者からの体育館内の施設等の説明にも真剣に耳を傾けていました。

また、塩釜消防署員からは災害発生時における地域住民の避難行動の大切さについて説明があり、訓練に参加した方々は、いざという時の備えについて考える機会となり、学校と地域住民との関係が構築される良い訓練となりました。



秋の行楽シーズン・・・クマ出没注意報発出中！！

《11月6日（月）まで》

県に寄せられたツキノワグマ目撃等情報では、過去5年の平均と比べて出没率が高い状況です。人間にとって秋の行楽シーズンは、クマにとっては冬眠前の脂肪を蓄える時期でもあり、多くのエサを求めて、人里においてくることがあります。クマ鈴やラジオを鳴らす、多人数で行動する等ツキノワグマと遭遇しにくい対策をとり注意して行動しましょう。

